

第4回(12月)定例会

令和4年度決算.....P 2

補正予算.....P 4

ピックアップ.....P 5

委員会審査.....P 6

表決一覧.....P 8

一般質問

14人が市政を問う.....P 9

いずみ 市議会 だより

かけはし

K A K E H A S H I

■発行/出水市議会

■編集/出水市議会広報広聴特別委員会

■発行日/令和6年2月29日

〒899-0292 鹿児島県出水市緑町1番3号

TEL 0996-63-4074

FAX 0996-63-1155

ホームページ <http://www.city.kagoshima-izumi.lg.jp/>

令和5年【2023】

第71号

12月定例会

1月臨時会



出水市議会ホームページ



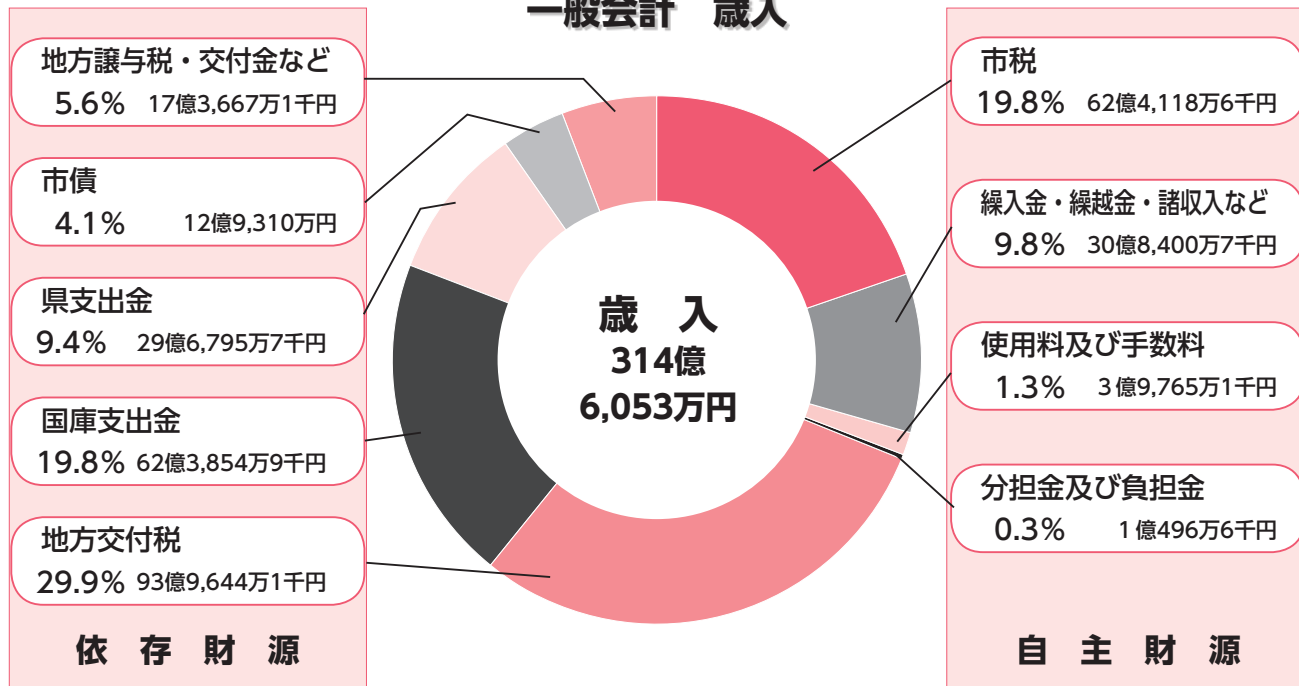
鬼火焚き（令和6年1月6日 馬流自治会）

一般会計
特別会計

4年度決算

本会議初日に、令和4年度各会計決算9件を認定し、決算に関連する議案2件を可決しました。

一般会計 歳入



公共事業を背景に、内水面漁協が工事協力金として、受注した土木事業者から取っている。こういったことに早くメスを入れなければならぬ。この決算の内水面漁業振興対策事業費、たった1件のために反対をせざるを得ない。

吉元 勇

中嶋 敏子

地方自治体の予算の重心をおくべきところは、福祉と暮らしであり、住民の命と暮らしを守る防災であり、暮らしを支える農業や中小企業であると考えている。令和4年度の決算は、民生費や衛生費の占める割合は大きいですが、コロナ禍で苦しむ市民の現状に照らせば十分とは言えない。

反対
の意見

一般会計

討論



企業会計

〔下水道事業会計〕

反対
の意見

出水市では、合理化事業計画は1回も策定、提出されないまま、事業だけは毎年随意契約で丸投げされていることは問題である。今後、下水道使用料の値上げ等も検討されることが懸念される中で、この問題はきちんと正し、法に基づいた対応をするべきである。

中嶋 敏子

賛成
の意見

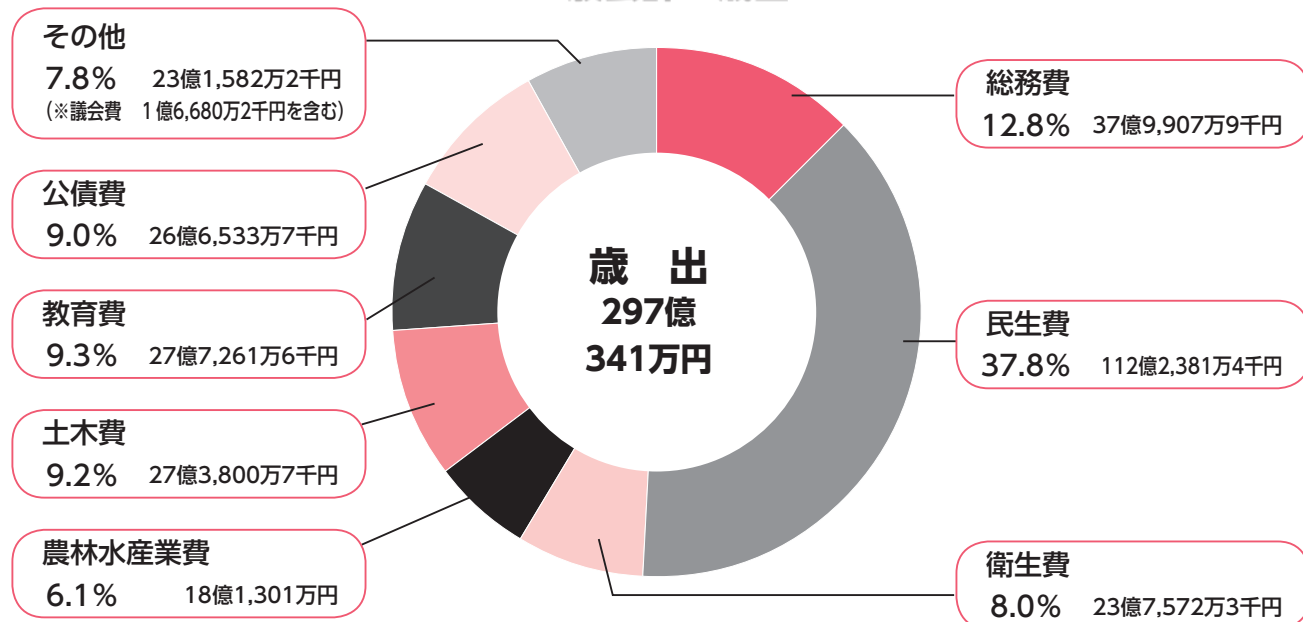
〔病院事業会計〕

黒字になれば、職員、看護師の募集に何らかのプラスになるが、この背景に、過剰な診察、それ以上何らかの問題点があれば、黒字以上に医療倫理が大事である。それをきちんと重視しなければならぬ。今後も経営は大事であるが、医療倫理を重視した病院経営であることを述べ、賛成する。

吉元 勇

歳出総額 440億1,075万円

一般会計 歳出



特別会計

143億734万円

【国民健康保険特別会計】

反対の意見

窓口留置による無保険等で病院にかかりにくくなり、病気が重症化し、医療費の高騰に跳ね返るといふ悪循環を正すため、国の負担増を求め、国保基金の活用等で均等割、平等割を廃止し、高すぎる国保税を引下げるべきである。市民の命、暮らしを守る本来の制度に戻すべきであることを指摘し、反対する。

中嶋 敏子

【後期高齢者医療特別会計】

反対の意見

コロナ禍で高齢者の命と暮らしをどう守るのが問われているときに、医療費窓口負担が一気に2倍になった。減らされてきた高齢者医療への国庫負担を抜本的に増やし、差別と負担増のこの制度を廃止し、元の老人保健制度に戻すべきである。

中嶋 敏子

【介護保険特別会計】

反対の意見

わずかな年金しかない高齢者は、高い介護保険料を天引きされることにより、暮らしが脅かされている。介護事業所は、報酬の大幅削減で経営困難に拍車がかかり、介護現場の人手不足を加速させている。基金残高の活用や一般会計からの繰り入れを行うなどして介護保険料の引き下げと、誰でも必要ときに安心して必要なサービスを利用できる本来の制度に改善、見直しを図るべきである。

中嶋 敏子

賛成の意見

この保険のおかげで、いろんな家族が社会に助けられている。今後は、介護保険を支える意味でも、なるべく介護保険に頼らない健康な体づくり、そういった環境づくりをしなければならぬ時代である。この決算を認定することにより、今後も介護保険事業が継続することを述べ賛成する。

吉元 勇

一般会計
補正予算

14億3,604万3千円を追加

一般会計総額 315億5,660万3千円

令和5年度一般会計(補正予算)の主な事業

■ 物価高騰対策給付金給付事業

5億9,320万円

国の経済対策に基づき、物価高騰による低所得世帯の負担軽減を図るため、令和5年度の住民税均等割非課税世帯に対し、1世帯当たり7万円を支給。



■ 地域消費喚起・生活支援事業

1億7,750万円

物価高騰の影響を受けている市民の家計負担軽減を図るための生活支援策として、全市民に市内の登録店舗で利用できる応援券を配布。

応援券配布額 1人当たり3,000円分(500円券×6枚)

使用期限 令和6年4月30日まで



■ 海岸保全施設維持管理費

2,000万円

土砂の堆積により浸水のおそれがあるため、出水干拓東工区天神潮遊池のしゅんせつ工事を行うもの。



■ 急傾斜地崩壊対策事業

1,500万円

米ノ津前地区の崩壊対策に係る測量設計委託費等。



令和5年度交通災害共済特別会計(補正予算)

■ 自転車用ヘルメット購入費助成事業

50万円

本年4月1日から、自転車の運転者は乗車用ヘルメットを着用することが努力義務化されたことに伴い、加入者を対象とした自転車用ヘルメットの補助を行い普及を図る。

対象者 交通災害共済加入者

補助率 1/2

補助額 1人1回1個 上限2千円



ピックアップ主な議案

全会一致
原案可決

区域内の公共的団体等の活動の総合調整について

本会議最終日（12月20日）に上程され、記名投票の結果、全会一致で原案が可決されました。



どんな議案？

【議案の内容】

地方自治法第157条の規定に基づき、広瀬川漁業協同組合に対し、

- (1) 保全会の適正な活動への妨害行為に対する是正の勧告、停止の命令等の措置
 - (2) 国、県及び市が実施する事業における協議等において正当な理由なく拒否するなどの不誠実な行為に対する指揮監督等の措置
 - (3) 市職員等を正当な理由なく呼び出す行為等に対する停止の命令等の措置
- 以上の措置を講ずることについて、地方自治法第96条第1項第14号の規定により議会の議決を求めるもの

※地方自治法第157条第1項

普通地方公共団体の長は、当該普通地方公共団体の区域内の公共的団体等の活動の総合調整を図るため、これを指揮監督することができる。

※地方自治法第96条第1項

普通地方公共団体の議会は、次に掲げる事件を議決しなければならない。

第14号 普通地方公共団体の区域内の公共的団体等の活動の総合調整に関すること。



なぜ？

【提案理由】

以下のような事態が継続すると、個別の事業遂行のみならず、市行政全体に支障が生じ、ひいては市民の安心・安全が脅かされることとなるため。

環境保全会が出水平野土地改良区から適正な許可を受けて、用水路修繕工事を実施していた際、広瀬川漁業協同組合理事から理不尽な主張があり、工事の中断に追い込まれた。

➡ 今後の市全体の農業活動への妨害へとつながるものである。

高川ダム耐震調査のためのボーリング等に係る事業において、事業の実施とは関係のない理由で広瀬川漁業協同組合が事業に同意できないと聞いた。

➡ 農業施設の根幹である基幹水利施設の更新事業に重大な支障をきたすこととなり、本市の農業に著しい後退を招くこととなる。さらに、高川ダムの耐震性の確保は、流域住民の安全に直結する喫緊の課題であり、これ以上の事業の遅延は許されない状況にある。

主な
質疑・討論

質疑

問 罰則規定もない中で、どのようなことを目的として提案したのか。

答

市民あるいは社会全体に事実を伝え、市の措置を訴えていくことで、行為を改めていただし、正常化していきたいという狙い、思いがある。

討論（賛成）

市長の「もう、うんざりだ」の言葉は、広瀬川漁業協同組合に対するこれまでの様々な不誠実な行為に対する言葉と認識する。議会が全員一致で可決し、この総合調整の声をまず一歩として進めなければならない。

吉元 勇

1つの公共的団体が川の環境保全を理由にこれほど市へ不利益を与えてよいはずがない。全国的にも例の少ない今回の判断は、苦渋の決断だと思う。よってこの議案に賛成する。

北御門 伸彦

常任委員会審査

総務病院 委員会

(補正予算)

地方創生応援税制寄附金 240万円

企業版ふるさと納税の受け入れ 4件分

※ 企業版ふるさと納税とは、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して寄附を行った場合に法人関係税から税額控除する仕組みのことです。

交通安全推進事業 50万円

対象者 交通災害共済に加入し、自転車賠償保険等に加入している方

年齢制限 なし

補助率 2分の1以内(上限2,000円、1人1回1個)

令和6年1月1日以降に購入されるヘルメットが対象

問 「購入の確認方法は。」

答 「店舗で購入した場合は、レシート等で、インターネット等であれば、購入が確認できるページの印刷で確認したい。補足になるが、ヘルメットについては、複数ある安全基準のいずれかを満たしているものと考えている。」

文教厚生 委員会

(補正予算)

小学校施設維持補修費 130万円 教育総務課

中学校施設維持補修費 170万円

特別支援学級数の増に伴う教室改修準備経費

医療的ケア児保育支援事業費 529万円 こども課

医療的ケア児の受け入れ態勢整備のため、看護師等の配置に対する補助

交付先 社会福祉法人 下水流福祉会

保育所事故防止推進事業費 37万5千円 こども課

睡眠中の事故防止のための体動センサー購入に対する補助

交付先 社会福祉法人 出水愛育会



常任委員会審査

産業建設 委員会

(令和4年度決算)

食肉等流通体制整備事業費補助金

マルイ食品株式会社が運営する食肉処理加工施設の移転新築に要する費用の一部を補助するもの。令和3年度に事業の承認と補助金の交付決定を受けて、令和4年度に繰り越して実施。

予 算 額	23億円
支 出 済 額	3億円
繰越明許費繰越	20億円
整 備 期 間	令和4年度から令和6 年度までの3か年計画



(野田町下名)

※ 決算は、9月定例会閉会后、会期外に審査を行いました。

陳 情

不採択

政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情

◎陳情者 政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める鹿児島県民の会
代表者 福田 里美

賛成少数

●主な趣旨

- ・ 庁舎内で無許可での政党機関紙の営業・勧誘行為を禁止または自粛。かつ、執務室内に立ち入っての配達・集金が行なわれないよう行政に求めている。
- ・ 政党機関紙を職員で私的に購読したい場合は、自宅等を配達先・集金先として推奨する等、職員の努力・改善を求めている。
- ・ 市役所内においても職員が庁舎内で政党機関紙を勧誘されたり、その際に心理的な圧力を感じたという実態がないか、職員に寄り添い調査・確認するよう行政に求めている。心理的圧迫を受けた職員がいた場合は、適切に対応してほしい。

◇陳情に反対の立場で

(中嶋敏子議員)

憲法で保障された政治活動の自由、個人の思想の自由を侵害し、その権利を侵すことにつながる本陳情は不採択とすべきである。

(池田幸弘議員)

本市では、庁舎内勧誘行為はできないこととなっている。また、日本全国において、庁舎内で機関紙の営業行為が実施されていないところは不採択となった経緯がある。本市も庁舎内でこういった行為が数年行われていないことから、不採択とすべきである。

表 決 一 覧

議案番号	議案名	採決結果	議案番号	議案名	採決結果
認定第1号	令和4年度出水市一般会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認定	議案第68号	令和5年度出水市病院事業会計補正予算（第2号）	賛成多数 原案可決
認定第2号	令和4年度出水市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認定	議案第72号	出水市附属機関の設置に関する条例及び出水市空家等対策の推進に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
認定第3号	令和4年度出水市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認定	議案第65号	令和5年度出水市水道事業会計補正予算（第3号）	全会一致 原案可決
認定第4号	令和4年度出水市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認定	議案第69号	令和5年度出水市病院事業会計補正予算（第3号）	全会一致 原案可決
認定第5号	令和4年度出水市交通災害共済特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致 認定	議案第79号	令和5年度一般会計補正予算（第10号）	全会一致 原案可決
認定第6号	令和4年度出水市地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致 認定	陳情第4号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情	賛成少数 不採択
認定第7号	令和4年度出水市水道事業会計決算の認定について	全会一致 認定	議案第73号	出水市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
認定第8号	令和4年度出水市下水道事業会計決算の認定について	賛成多数 認定	議案第74号	出水市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
認定第9号	令和4年度出水市病院事業会計決算の認定について	全会一致 認定	議案第75号	出水市公開武家屋敷の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第52号	令和4年度出水市水道事業会計決算による剰余金の処分について	全会一致 原案可決	議案第76号	公の施設の指定管理者の指定について（高尾野地域社会体育施設）	全会一致 原案可決
議案第53号	令和4年度出水市下水道事業会計決算による剰余金の処分について	全会一致 原案可決	議案第77号	公の施設の指定管理者の指定について（野田地域社会体育施設）	全会一致 原案可決
議案第70号	出水市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	全会一致 原案可決	議案第78号	出水市の特定の事務と取り扱う郵便局の指定について	全会一致 原案可決
議案第71号	出水市特別職の職員の給与に関する条例及び出水市病院事業管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数 原案可決	議案第58号	令和5年度出水市一般会計補正予算（第9号）	賛成多数 原案可決
発議案第1号	出水市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数 原案可決	議案第60号	令和5年度出水市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	全会一致 原案可決
議案第57号	令和5年度出水市一般会計補正予算（第8号）	賛成多数 原案可決	議案第62号	令和5年度出水市介護保険特別会計補正予算（第4号）	全会一致 原案可決
議案第59号	令和5年度出水市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	全会一致 原案可決	議案第63号	令和5年度出水市交通災害共済特別会計補正予算（第2号）	全会一致 原案可決
議案第61号	令和5年度出水市介護保険特別会計補正予算（第3号）	全会一致 原案可決	議案第67号	令和5年度出水市下水道事業会計補正予算（第3号）	賛成多数 原案可決
議案第64号	令和5年度出水市水道事業会計補正予算（第2号）	全会一致 原案可決	議案第80号	区域内の公共的団体等の活動の総合調整について	全会一致 原案可決
議案第66号	令和5年度出水市下水道事業会計補正予算（第2号）	全会一致 原案可決	報告議第3号	閉会中における調査事項の報告（総務病院委員会、文教厚生委員会、産業建設委員会）	受理



つちや こうし 議員

**水利施設等
保全高度化事業**

令和4年度までの
完了を目指す

全体計画を令和40年までとし、1期計画は令和6年度から令和10年度までの5か年を予定している。

農業用施設の老朽化については、今後も出水平野土地改良区や県と連携し、国営事業や県営事業を活用しながら施設の長寿命化を図っていく。



福ノ江井堰（浦田川水流）



八久保頭首工（高尾野町）



住吉町井堰

その他の質問
○河川堤防、改修、維持管理について
○企業誘致について



すぎもと なおき 議員

**人口維持に向けた移住
・定住の促進策は**

引き続き
検討していく

た方々への移住支援金交付事業の取組を推進している。また移住を検討されている方向けに、お試し居住体験を実施し、既に移住されている方や本市で活動している地域おこし協力隊員の協力を得て、本市の魅力を全国に発信し、今後も継続する。

**「防災道の駅」
整備計画の進捗は**

年度毎計画に
基づいて進めている

問 整備手法に示された民間活力を導入する官民連携事業手法検討調査の進捗状況と今後の見通し、併せて計画予定地の敷地面積に対する防災機能のバランスと「道の駅」開業目途を伺う。

答 現在出水市では定住促進事業や移住され

答 現在、施設の導入機能や規模などのモデルプランを検討してお



ひだ 新一 議員

出水市の自殺の現状を伺う

自殺総合対策大綱に基づき取り組み

問 昨年度の自殺者統計によると全国で21881名、鹿児島県で316名の貴重な命が失われている。本市での過去10年間の自殺者年代別推移と令和2年3月以降の「自殺対策計画」の取組状況を伺う。

答 自殺の現状について長期的には国、県と同様に本市も減少傾向にある。令和2年3月に計画を策定し、国の自殺総合対策大綱に示

された基本方針に基づき取り組んでいる。

問 本市の自殺者は、令和4年度は前年度の倍以上に増えている。このことについて見解を伺う。

答 昨年度は大幅に増えた。国から各自治体ごとに、その地域の自殺に関するプロファイルの送付があるので、送付を受けた後、分析等を行い事業の反映につなげたい。

登下校時の不審者状況を伺う

状況判断訓練で危険を回避

危険を回避

問 登下校時の不審者による声掛け事案が頻繁に発生している。

11月下旬に同一校区で2件発生しており、保護者は大事に至らな

ければと心配している。対応策を伺う。

答 不審者事案の報告は、昨年度が5件、今年度は18件である。分析したが、不審者の増か、子供たちの防犯意識の高まりによるものが判断できない。不審者と遭遇時の対応では、防犯ブザー等の活用や「いかのおすし」での対応を全ての学校で、「110番の家」への駆け込み訓練等を一部の学校で行っている。



その他の質問

○不登校・いじめについて



いまい 健一 議員

認知症でも安心して暮らせるまちづくり

今後も地域共生社会の構築に取り組む

問 今後、少子高齢化が進み、認知症患者が2025年には、65歳以上の約700万人になると予測されている。認知症であっても、認知症でなくても自分らしく暮らせるまちづくりに市を挙げて取り組むことだと考え質問する。

本市で把握している認知症の方は何人いるか。そのうち、在宅の認知症の方は何人いるか。

答 高齢認知症の方は2380人。そのうち在宅の認知症の方は1132人。

問 行方不明になった際に早期発見するため認知症（疑いも含め）の方をどのように検索するようにしているか。

答 予防策として、本人及び家族の同意のもと、本人の顔写真を地域包括支援センターに登録しているケースもある。ケアマネジャーや警察等と情報共有を行い、捜索に協力している。また、GPS購入費用の助成や介護保険サービスによるGPS等のレンタルを行っている。

問 GPSは高価なため、QRコード（衣服や腕に貼るシール）を発行し、対応していく

考えはないか。

答 QRコード等の活用については、本人の尊厳を保ちながら、本人と家族の理解と同意、その他具体的な手法等検討する課題が多い。まずはGPS等購入費の補助や介護サービスによる機器のレンタルから進めていく。

問 認知症の方が、他人の財産（財物）を壊した場合の損害賠償に備えて、市が保険者（契約者）となつて、損害賠償責任保険事業を導入しないか。

答 基本的には、当事者間で解決すべき問題であると考えている。民間の保険に加入されている方もいる。

その他の質問

○傘の滴取り器の導入について



さこだ 小百美 議員

認知症サポーター 養成講座の実施

各学校の実情に
応じて実施していく

問 子供や学生向けの認知症サポーター養成講座の実施や高齢者との交流などを通じて子供や若者が認知症の人への理解を深めることが必要である。希望校だけでなくこれから出水市内全ての小学校高学年児童や中学校を対象に、認知症サポーター講座を推進し、次世代を育てる取組を増やすことはできないか伺う。

答 これからの高齢化

社会の現状を考えると、こういった認知症の方への理解を深めることが必要である。しかし、学校では、授業時数が割り振られており、それ以外の主権者教育や人権教育など全ての学校で同様に扱うとなると、学校の実情においては、かなり無理が掛かることが分かる。例えば総合的な学習の時間で行っている活動の中に認知症の方を理解する学習が入っているとか、教科で扱う中で、認知症に関する話題が出てくるなど、こういった形でカリキュラムを組んで、各学校の実情に応じて工夫をしながら、実施していくという形をとっていかざるを得ないと考えている。



オレンジリングは認知症サポーターの目印



認知症サポーターロゴ



うと しゅういち 宇都 修一 議員

広瀬川漁協への 対応は

状況を踏まえて
検討していく

問 保全会の作業が広瀬川漁協の妨害を受けて中断する事例が発生している。出水平野土地改良区も攻撃を受けてきた。

同漁協の影響で高川ダムの耐震調査や農業施設の大規模修繕事業ができず、末端の施設まで傷んでいるところばかりである。損害を請求し、告発するべきである。

公共事業による莫大な金額の協力が漁協に支払われているが法

的経費なのか。不当要求ではないのか。市からも多くの補助金が出ているが、その予算は子供達のために使うべきである。

市も議会も真剣に対応してきた。鹿児島県



高川ダム

答 広瀬川漁協理事の理不尽な主張があり作業中断の報告を受けている。

事情聴取のために呼出状を送付したが応じない。告発については顧問弁護士と協議し判

断する。

農業用施設の老朽化対策は喫緊の課題と認識している。費用は概算40億円だったが、さらに増えると思われる。ダムの耐震調査につ

いては2年間農政局に通って現在ボーリングの発注手続き中である。協力は任意のもので法定ではない。

補助金については状況を踏まえて検討していく。

その他の質問

○TSMCと台湾有事について

○オールドカーフェス

○職員のボランティア参加について



いづみ 睦雄 議員

**陸上競技場に
電気時計の設置を**

高価であるので
リースで

問 公認の記録会や大きな大会の開催には欠かせない設備である。また、大会開催で出水市に潤いを与え、知名度も上がると思う。機器は高額であるが、陸上関係者などから進捗や設置を望まれた。使用頻度も考慮しながら陸上競技協会と協議していくということだったが、ぜひ購入願いたい。

答 タイム測定器自体数千万円で非常に高価

である。導入については令和2年度に陸上競技協会と協議させていた。ただし、使用頻度も考慮したうえで、現時点では必要な際にリースで対応することで御理解いただけたものと認識している。



**出商業体操同好会
へのサポート**

トップアスリート
影響は大

問 NHK・BS放送「奇跡のレッスン」で99分にわたりオリンピックメダリストの内村航平さんが、インターハイに向けた出水商業高校体操同好会の指導を行う放送があった。その指導、熱意、

生徒たちの葛藤の中、立派な成績を残した。心に残る放送だった。教育委員会は体操同好会にどんなサポートをされてきたのか。

答 九州大会や全国大会出場の際に旅費等の補助や通常の活動に対する部活動等強化支援補助金の支給をした。市民への放送の周知は

しなかったが、生徒が内村航平さんのアドバースによりどんどん変容したことから、放送局からのDVDは有効に活用したい。体操同好会の体制は指導者や保護者から部活動として取り扱う要望等があるとは聞いていないが、今後要望等があった場合には学校において検討していく。

その他の質問
○AEDの配置・活用について



えがわの かずなり 江川野 一成 議員

**市所有地内にある
個人名義地の解消を**

所有権移転登記
に努める

問 不動産登記制度の目的は、不動産の権利関係を公示することに

よって取引の安全と円滑に資すると解されている。所有権を主張でき、権利関係を第三者へ対抗するために公示する役割があるが、市所有地内の個人名義の筆数と未登記に起因するトラブルがないか伺う。また、個人名義地の解消のために、速やかに所有権移転登記をする考えはないか伺う。

答 本市が使用している土地で、個人名義のまま所有権移転登記がなされていない土地が、約1600筆ある。未登記となっている主な要因は相続関係によるものであり、時間を要するものが多くあるが、未登記期間の長期化により解消を困難にするために、未登記の解消に努めていく。また、未登記を起因としたトラブルについては記録に残っておらず、把握していない。



**学校施設の安全・
機能性確保の取組は
安全点検実施と技術
者との連携で対応**

問 学校施設は、児童

や生徒の学習・生活の場である。また、地震などの災害時には、避難所として地域住民の安全を守る役割があり、いつ何時も十分な安全・機能性を保っていないければならない。各学校で諸課題があると思うが、施設の安全・機能性を確保するために、どのように取り組まれているか伺う。

答 各学校において、学校安全計画を策定し、この計画に基づき施設の安全点検を実施している。点検の結果により、教育委員会と市長部局の技術者と連携しながら適切に対応している。

その他の質問
○住宅助成制度の補助金の増額について



きたみかど のぶひこ 議員
北御門 伸彦

地域医療 医師の働き方改革

複数主治医制度の
一部実施

問 2024年問題の
大きな課題の一つが、

医師の働き方改革ではないかと思う。市民の命に関わる大きな課題と言ってよいと考える。出水市病院経営強化プランで、働き方改革についてこれまでどのように取り組まれ、また、今後さらにどのように取り組むのか。

答 医師の時間外労働の上限規制が2024年4月から開始されることを踏まえ、時間

外・休日勤務時間の時間数を把握し、当直・日直勤務体制を見直した。また、医師の事務作業の補助職員であるメディカルクラークの増員、他の職種への業務移管であるタスクシフト、複数主治医制度の一部実施など取り組んだ。

麓地区の活性化

地域住民等との
意見交換

問 麓は観光でスポッ

トが当たっているが、まずは住宅地として住みやすい環境の保全が第一歩と考える。そのためには地域住民が誇りを持って、その環境を維持し、魅力をしっかり自覚し、観光にも協力的に活動することが、よりよい環境をつくり、地域の活性化が

図られるのではないかと考える。市はどのような配慮をしているのか。

答 出水麓武家屋敷群

は令和2年8月に規制緩和を行い、RIT A 出水麓、レストランK AIEDAなどがオープンするなど民間事業者の参入が活発になっている。

地域内でのイベント等の開催により、地域が活性化し、さらに民間活力で新たな飲食店などが開業して、にぎわいが生まれることで定住促進や空家対策などにつながると考える。観光客と地域住民の共生に関する課題等については、公開されていない施設や住宅敷地への立入りなどが考えられるが、地域住民等との意見交換などで情報共有を図り、適切に対処する。



たなか しゅういち 議員
田中 秀一

ラムサール登録地他の 新しい見せ方とは

エコツーリズム全体
構想の策定で検討

問 ラムサール条約湿

地登録地及び近辺の、新しい見せ方と観光活用について検討している内容は。

ツル観察センター駐車場の利用形態変更や電線の地中化、トイレの通年24時間利用やツル保護センターの活用はできないか。

ツル観光タクシーの利用方法とオフシーズン電気自動車を飛来里等で利用できないか。また、石造干拓施設群やオシロカジリムシの

観光活用、福ノ江農村公園トイレの水洗化と旧衛生センター跡地の観光活用はできないか。

答 現在、早朝開館や

入域規制を行い、電気自動車などの無料貸出しを行っている。今後、エコツーリズムガイドが同乗した、多人数で乗車できる専用車の導入を検討している。長期的には出水市エコツーリズム全体構想を策定し推進法による規制を考えている。

駐車場やトイレの在り方、ツル保護センターの活用や電線の地中化等は、見直しの時期が来ているが、長期的に考えたい。

電気自動車の利用方法や登録地近辺の観光活用も検討したい。観光タクシーは、乗車時に申し出て利用する。公園トイレは簡易水洗化を検討、旧衛生セン



▷空きの多い駐車場と未使用24時間トイレ



▷景観を損ねる電線と集団で集まるカラス



なかじま としこ 議員
中嶋 敏子

職員を増やして労働環境の改善を図れ

働き方の問題で対策は取っている

問 死にたい、消えたいと思った職員が50人。

あまりにきつくて仕事から離れたい、続けられないという職員が152人。ひと月80時間超残業の職員が130人。うち80人は100時間超。これは異常ではないか。

答 安全衛生委員会では情報共有し、必要に応じて専門家や総務課で対応している。他市と比較して平均的な割合である。

問 鬱病などの心の病で休んでいる職員が15人。この原因と対策は。

答 長時間勤務が原因というより、人間関係や相談相手がいなかったことが主要因であることが面談の結果判明。相談しやすい体制を整備したい。

問 出向職員の出向先と人数。その必要性と見直しについて伺う。

答 現在派遣している職員は11人。より高度で専門的な知識やより広い視野を身に着けるために必要。見直す考えはない。

問 市役所が病んでいる。実態がある。職員の数は適正、妥当だと考えるか。

答 働かせ方ではなく働き方の問題と考えて

いる。時間外勤務の要因分析・日報管理の義務づけ、応援体制等対策を取っている。

水俣病被害者の救済に力を尽くせ

裁判で判決されるものと承知している

問 裁判の原告含め全ての被害者救済のために、国・熊本県に対して早期解決を図るよう求め、被害者との懇談の場を設けていただけないか伺う。

答 今も係争中であること等から考えていない。

その他の質問

○エネルギー対策について



みなみつる ひろし 議員
南鶴 洋志

小中学生のゲーム・スマホ依存対策は

情報モラル教育を行って

問 ネットやスマホの過度の使用によって、生活リズムが乱れ、健康や学業に支障を来す子供が増えており、医学的にも、社会的にも重要な問題となっている。本市での小中学生の教育現場での具体的な対応、指導、各家庭との連携サポートと現状について伺う。

答 児童生徒向けに、関係機関や企業、教職員による情報モラルに関する講話を実施して

いる。また、各教科や道徳、総合的な学習の時間などの授業でも、定期的な情報モラルの指導を行っている。保護者に対しては、学校だよりや保健だよりなどの配布物のほか、学級PTAやPTA総会、家庭教育学級など、様々な機会にネット依存やゲーム依存予防に係る啓発活動を行うとともに、フィルタリングの設定や、家庭での利用時間の制限などを依頼している。

自主防災組織の実態は

活動状況等の調査を行う

問 本市の自主防災組織率は100%だが、実態は役員名簿だけではないのか、実態調査をした方がよいと思うが現況を伺う。

答 市として情報提供や支援事業等行っているが、具体的に実施されている状況については把握していない。しかし、災害が発生した場合に、この自主防災組織の機能が十分に発揮できるかどうかは、市民の安全安心を守る上でも重要な要素であると認識している。活動状況等について調査をしたい。

その他の質問

○成人のひきこもり
○交通安全対策

インターネット利用等実態調査（令和5年9月実施）

	小学生	中学生
スマホやゲーム機、パソコンなどのインターネットに接続する機器を所持している	71.9%	94.0%
自分専用のスマートフォンを所持している	27.3%	61.8%
端末の利用時間、1日平均が2時間未満	71.1%	51.8%



鶴田 均 議員

野田川水辺環境の活用はできないか

農業用水としての取水は可能である

問 野田川の水辺広場が野田町の中心地に近くにある。一定の河川幅がある。渇水期には農業用水として水の利用や消防団の出初め式の放水に活用されていた。そこで、水辺広場の整備及び渇水時の農業用水への利用はできないか。

また、今後2、3年に1回は消防出初め式中に行進後、各地域で一斉放水の演習をすれば、地域の消防団の訓練やアピールができ、

団員募集にも生かされると思うがどうか。

答 当該箇所には農業用井堰があり、深みもあることから、水難事故等が危惧され、広場への整備は課題が多く、難しいと考える。渇水時の農業用水への利用は、現状でも取水は可能である。

また、消防出初め式は、消防団員、消防職員及び関係機関が一堂に会することに意義のある行事であるため、現在の形を維持していきたい。訓練は春秋火災予防週間に消防署、消防団合同でいろいろな災害、火災等を想定し実施している。

**3D都市モデルを生かした防災対策
ハザードマップ
更新後検討**

問 南九州西回り自動車道の開通に伴い、米之津川の越流や背面水の影響で氾濫した場合の避難回路など防災計画に3D都市モデルを生かしてはどうか。今後、線状降水帯の通り道や停滞も想定されることから、氾濫浸水の安全回路などシミュレーションをすることによって浸水地域の人達に周知して、人災にならないように啓発してはどうか。

答 3D都市モデルを活用した防災対策については、米之津川周辺は南九州西回り自動車道の完成後に、県による米之津川の浸水想定区域の見直しが行われた場合、本市のハザードマップの更新が必要となることから、3D都市モデルの導入の必要性についても検討していきたい。



高崎 正風 議員

**落水、命がけの作業
自動転倒ゲートにできないか**

土地改良区と連携し調査をする

問 農業は本市の基幹産業である。今の状況は後継者や担い手不足で、いつリタイヤするか分からない高齢者ばかりである。水田耕作は「水」が命である。河川から取水するには井堰（いぜき）がなければならぬ。昭和の時代に整備された井堰には自動転倒ゲートは設置されていない。今までは、堰板をはめ込み取水し、落水のときは、堰板を外していた。

この作業は高齢者にとっては「命」がけの仕事で大変危険な作業である。また、防災上の観点からも年次的に自動転倒ゲートを設置していく考えはないかを問う。



松ケ野井堰

答 現在、出水市内には約140か所の頭首工があり、規模や現場の状況もさまざまである。更新については、まずは老朽化対策が急務と考えているが、防災面や管理する農家の負担軽減、安全確保という観点から、土地改良区と連携しながら調査していく。



柿の木原井堰



大井手井堰（高尾野）

その他の質問
○出水土地改良区水利施設等高度化事業について
○道路行政について

3月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
2/18	19	20	21	22	23	24
	開会				天皇誕生日	
25	26	27	28	29	3/ 1	2
				一般質問		
3	4	5	6	7	8	9
	一般質問			委員会		
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
	閉会		春分の日			

※本会議は午前10時から始まります。

※日程については一般質問する人数次第で変更になる場合があります。

臨時会

令和6年1月17日（水）午前10時から令和6年第1回臨時会が開催されました。

補正予算1件、特別委員会の設置及び委員の選任が審議され、原案可決となりました。

【設置された特別委員会の概要】

（名称）

出水市議会議員報酬等調査特別委員会

（目的）

議員報酬等の在り方について調査及び検討を行うこと

（委員構成）

◎出水陸雄、○上須田清、宇都修一、
鮎川浩一、鶴田均、杉本尚喜、
高崎正風

※ ◎は委員長、○は副委員長

編集後記

「議会だより」が市民の皆様にも、市政状況を読みやすく、分かりやすく伝えられるよう務めてきました。

委員長 日高 信一

紙面の構成を工夫し、手に取っていただける議会報を作成してまいりました。この議会報を機に議会に関心を持ち、市民の皆様と政治が近くにあることが伝わればうれしく思います。

委員 田上 真由美

今回お届けする議会報は、令和4年度各会計決算認定や市政発展の問題解決に向けた「区域内の公共的団体等の活動の総合調整」を議決した内容を分かりやすく掲載いたしました。

委員 杉本 尚喜

元旦早々能登半島で発生した震度7の地震。甚大な被害に心が痛みます。議会と行政、市民が一体の災害に強いまちづくり。「かけはし」がその「つなぎ役」になれるよう頑張ります。

委員 中嶋 敏子

令和6年新年早々能登半島地震が発生し甚大な被害に見舞われています。早急に災害復旧復興を願います。ツル野鳥の飛来で高病原性鳥インフルエンザ発症も心配です。

委員 道上 正己

御意見をお寄せください

広報広聴特別委員会では、「見やすい」広報誌づくりに取り組んでいます。

皆様の御意見・御感想をお聞かせください。

☎(TEL)63-4074 ☎(FAX)63-1155

✉(Mail) gikai_c@city.izumi.kagoshima.jp

編集・発行

（広報広聴特別委員会）

委員長 日高 信一

副委員長 井伊 健一

委員 池田 幸弘

委員 田中 秀一

委員 南鶴 洋志

委員 土屋 工吉

委員 田上 真由美

委員 杉本 尚喜

委員 中嶋 敏子

委員 道上 正己

議長 田上 真由美

発行責任者